

地盤品質判定士会中部支部
令和5年度 第6回 幹事会 議事録

- A. 日時 2024年3月15日(金) 15:00～17:00
- B. 場所 基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 1F 会議室 および Zoom
- C. 出席者 千野[W]、桃井、利藤[欠]、向井[W]、谷口[欠]、居川、高森、北林[W]、小嶋、斉藤[W]、堀中[W]、倉橋[W]、山本[欠]、藤代[W]、小山[W]、後藤[W]、品川[W]、金森[W]、山名、植田[W]、長沼
([欠]は欠席、[W]は Zoom 参加、敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部令和5年度5回幹事会議事録
- ・報告-2 地盤品質判定士会2023年度第6回幹事会議事録
- ・審議-1-1 R6 講演会企画案
- ・審議-1-2 2024年度収支計算書
- ・審議-2-1 各グループ振り返り・来期計画
- ・審議-2-2 新規幹事募集
- ・審議-2-3 R6 総会資料案
- ・審議-4 話題提供

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認

前回幹事会(1/19)の議事録を確認した。

2. 本部第6回幹事会(3/12)報告

- ・神奈川支部の新幹事として東京都立大学の沼上客員教授が承認された。
- ・2024年度予算案が承認された。賛助会員会費160万円が見込まれており、会費制の導入を進める方針。
- ・北陸支部設立は能登半島地震の影響を考慮して10月に延期される。
- ・関西支部のスキルアップ研修会は予定30名に対して69名の参加があった。テーマが「擁壁」であり参加者の関心を惹いた。中部支部の講習会でも同様の傾向があった。
- ・講師謝金とその他の謝金の支払いに関する源泉徴収の考え方に変更があった。
- ・神奈川支部より宅地相談案件のデータベース構想について説明があった。情報管理、予算等の問題があり、当面は神奈川支部での運用とし、将来的には全国に展開できるようにしたい。
- ・NHK「おはよう日本」「首都圏ネットワーク」に取材協力したところ、放映後に相談件

数が急増した。

- ・中部支部からは名大減災連携研究センターとの連携、「げんさいカフェ」で能登半島地震に関する活動について報告した。
- ・東北支部より自治体との協定締結に向けて作成した災害緊急対応マニュアル案について説明があった。マニュアルの位置づけ、目的など慎重に検討する必要があるとの意見があり、継続して検討されることとなった。

3. 地盤に関する問い合わせ状況

各グループ振り返り、来期計画にて調査グループより説明。

F. 審議事項

1. R6 講演会計画

- ・日時は2024年9月27日（金）13:30～17:00とし、次年度以降も9月第4金曜日で予定していきたい。
- ・会場は昨年同様、名古屋大学減災ホールとし、現地とWEB併用とする。
- ・講演は、杭構造物に関する話題を2編、構造物の調査に関する話題を2編についてそれぞれ打診中である。いずれも宅地に関連づけられるような内容が望ましい。
- ・参加費については、候補の講師の方々が遠方から来た頂くことになるため、昨年度より1,000円アップ（会員5,000円、非会員7,000円）としたい。
- ・主催は地盤品質判定士会中部支部とし、後援はこれまでの地盤工学会中部支部、中部地質調査業協会に加えて名古屋大学減災連会研究センターにもお願いしようと考えている。
- ・講演会のテーマを決める必要がある。「宅地」に絡めたテーマとして、「中部の地盤」など地域性も考慮した内容にできると良いと思う。
- ・講師への謝金、交通費は源泉徴収して精算されるため、講師確認の際にはその旨説明しておくことが必要である（講師確認書に明記しておく）。

2. 総会・来期計画案

2-1 各グループ振り返り・来期計画

- ・総務グループより、R5年度の実績とR6年度の計画について説明があった。事務処理に関するマニュアル作成を進める。
- ・調査グループより今年度の宅地相談についての報告があった。依頼のルートは本部HPから10件、中部HPから6件で計16件である。
- ・調査グループより、R6年度の活動計画について説明があった。宅地地盤に関する住民相談については、相談対応の基本的事項一覧書の作成と相談回答事例の収集と整理とする。中部支部管轄地域の地方公共団体等との交流については、R6年度は具体的な連携・協働事項の精査を行い、R7年度以降の実行を目指す。
- ・相談対応では免責事項が重要となる。特に有償対応では相談者が明確な回答を求めてくる場合があるため難しい。中部支部として方針を決めていただきたい。また、能登半島

地震の液状化による変状など相談対応する判定士が使用できるような写真等の事例集があると助かる。

- ・有償対応には2種類あると考えられ、1つは所見を示す程度のアドバイザーの位置づけで限られた情報の範囲で回答するが技術的な判断を示すものではないというもの。もう1つは業務契約を結ぶような技術サービスの提供になるが、今のところ実績はない。
- ・回答（免責）に関する文案を調査グループで整理していくので、幹事の方々にもご意見いただきたい。
- ・中部支部のHPを見た日進市から協定締結についての打診がある。相手も手探りの状況なので、内容を確認しながら進めていくことで良いと思われる。

2-2 幹事募集の確認

- ・例年通り新規の幹事募集をする。4月上旬に判定士名簿の更新作業があるため、名簿更新後募集メールを発信する。メール文面についてはアレンジしたほうが良い。

2-3 総会資料確認

- ・2号議案の規約の改定については各グループの主査、副主査を追加する内容を追記する。文案は別途をお知らせする。
- ・令和5年度の事業報告が未完成であるのでまとめてく。幹事会活動についても記載する。
- ・令和6年度役員を選出案に記載されているが、山本幹事が退任されることとなった。講演会の入金確認など業務の引継ぎが必要である。

2-4 総会話題提供者選定

- ・後日選定する。

3. 減災館連携の企画

- ・減災館と中部支部との懇親会について。減災カフェの後に実施するなど、千野支部長から打診してみる。

4. 話題提供

- ・3月11日にCBCの番組チャントの中で能登半島地震について「能登の被災地で見えたもの」というタイトルで放送された。名古屋大学の福和名誉教授がコメンテーターとして出演されている。見逃し動画が視聴可能なので、参考に見ると良い。

G. 来年度の幹事会の予定

- 第1回：2024年5月31日(金)
- 第2回：2024年7月12日(金)
- 第3回：2024年9月13日(金)
- 第4回：2024年11月1日(金)
- 第5回：2025年1月17日(金)
- 第6回：2025年3月14日(金)

以上